

ひきこもり

「ひきこもり」の概念

「ひきこもり」はさまざまな要因によって社会的な参加の場面がせばまり、家庭以外での生活の場が長期にわたって失われている状態です。

「ひきこもり」の要因

「ひきこもり」には大きく分けて3つの要因が考えられます。

精神的な病気が強く関係している場合

- 症状** ● 幻覚妄想、うつ状態、強迫症状、パニック症状などの強い精神症状
- 治療** ● なるべく無理なく、信頼できる医療機関につなぐことが最優先です。
● 多くの場合、薬物療法などにより、比較的速やかに治療の成果が期待できます。

発達上の問題が背景にある場合

- 状態** ● 生来的に対人面を含む社会性の発達に問題があることが多く、幼児期から集団行動が苦手なことが目立ちます。
- 症状** ● 不適応が続く場合、一時的に精神症状が見られることがあります。
- 対応** ● 精神症状がある場合、医療機関につなぐことが必要です。
● 本人が発揮しうる能力について、適切に理解し、対応することが大切です。

明らかな病気や障がいがない場合

- 対応** ● 薬物療法にはそれほど期待できないことが多いようです。
● 精神的な病気の場合よりも、むしろ長期にわたる根気強い援助が必要です。
● まず、本人の心理的問題や、本人を取り巻く社会状況などについて理解することが大切です。